

サイエンスアゴラ2008 シンポジウム

出版不況下の 科学雑誌を 語る

11月23日(日) 10:30~12:00
会場：日本科学未来館 7階 イノベーションホール

入場無料 事前の申し込みは不要です

【主催】早稲田大学大学院 政治学研究科 科学技術ジャーナリスト養成プログラム
ジャーナリズムコース 学生有志



サイエンスアゴラ 2008

科学雑誌の新しい形を求めて

出版ビジネスモデルの再構築が問われる一方で、
科学技術情報へのニーズに応え、科学リテラシーを高めるための新たな動きも見られます。
科学雑誌は、この役割をどう捉え、その流れにいかに対応していくのかを考えます。

●パネリスト

発行人 (株)日経サイエンス 代表取締役社長／発行人
上岡 義雄氏

編集長 (株)オルタナ 代表取締役社長／編集長
森 摂氏

コーディネーター (株)リバネス 教育開発事業部
教育開発&コーディネーター 楠 晴奈氏

記者 毎日新聞 科学環境部記者
元村 有希子氏

元編集長 東京工業大学 監事／
早稲田大学大学院 政治学研究科 客員教授 西村 吉雄氏

●司会 早稲田大学大学院 政治学研究科 大学院生
岡崎 智美／渡辺 馨

企画・運営「出版不況下の科学雑誌を考える」実行委員会(早稲田大学大学院政治学研究科 学生有志)

詳細はサイエンスアゴラHPにて>>><http://scienceportal.jp/scienceagora/agora2008/081123/1-6.html>

お問い合わせ先／科学技術ジャーナリスト養成プログラム事務局 TEL: 03-3232-0151



科学への関心を呼び起こし、科学雑誌の明日を開拓する

科学・理科離れが語られて久しいですが、その一方で私たちの暮らしと科学との関わりは密接になっています。

しかも、出版ビジネスのモデルも大きく変化し、

科学雑誌も従来とは違う形態、たとえば、低価格化やオンライン化といった新たな動きを見せつつあります。

こうした状況を受け、科学コミュニケーションや科学リテラシーの向上などについて、関係者と問題意識を共有したいと考えています。

どうぞ、奮ってご参加ください。

パネリスト



上岡 義雄氏 ●かみおか・よしお
(株)日経サイエンス 代表取締役社長／
発行人

1947年5月2日生まれ。1970年日本経済新聞社入社、主に科学、技術関係の報道に携わり、日経サイエンス編集長、科学技術部長、日経産業消費研究所事務局長などを経て、2006年より現職。主な著書『神になる科学者たち』(日本経済新聞社刊)。

(株)日経サイエンス <http://www.nikkei-science.com/>



森 摂氏 ●もり・せつ
(株)オルタナ 代表取締役社長／編集長

1960年生まれ。東京外国語大学スペイン語学科卒、日本経済新聞社入社。98年～01年にロサンゼルス支局長を務めた後、02年退社。同年、ジャーナリストのネットワークであるNPO法人ユナイテッド・フィーチャーズ・プレス(ufp)を設立。07年3月、環境と社会貢献と「志」のビジネス情報誌『オルタナ』創刊。主な著書に『ブランドのDNA』(日経BP社)など、訳書に『社員をサーフィンに行かせよう』(東洋経済新報社)。

(株)オルタナ <http://www.alterna.co.jp/index.html>



楠 晴奈氏 ●くす・はるな
(株)リバナエス 教育開発事業部
教育開発&コーディネーター

1981年生まれ。横浜市立大学大学院国際総合科学研究科卒業。大学生時代から同社のインターンシップに参加し、小～高校生向けの実験教室の企画開発や科学雑誌「someone」の創刊から、記事作成、編集に携わる。4年間の活動を経て、2007年にリバナエスに入社。

(株)リバナエス <http://www.leaveanest.com/>



元村 有希子氏 ●もとむら・ゆきこ
毎日新聞社 科学環境部記者

1989年、九州大学教育学部卒業、毎日新聞入社。社会部記者を経て01年から科学環境部記者。連載「理系白書」で06年6月、第一回科学ジャーナリスト大賞を受賞。07年夏から1年間、英インペリアルカレッジで科学コミュニケーションを学ぶ。著書に「理系思考」(毎日新聞社)など。

理系白書ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/riikei55>



西村 吉雄氏 ●にしむら・よしお
東京工業大学 監事／早稲田大学大学院
政治学研究科 客員教授

1942年生まれ。東京工業大学大学院修了。日経BP社「日経エレクトロニクス」編集長、日経BP社の発行人、編集委員を歴任し現職。研究テーマは、産学連携、科学技術ジャーナリズム。著書に『硅石器時代の技術と文明』(日本経済新聞社)など。

司会

早稲田大学大学院 政治学研究科 大学院生
岡崎 智美／渡辺 馨

科学技術ジャーナリスト養成プログラム／ ジャーナリズムコースについて

科学技術ジャーナリスト養成プログラムは、早稲田大学大学院政治学研究科が開設した日本初のジャーナリスト養成のための大学院です。そして、ジャーナリズムコースとは、この取り組みをさらに確固たるものにするために開設された本格的ジャーナリズム大学院です。

サイエンスアゴラ2008への参加は、政治学研究科に属する大学院生の有志15名によって行われています。



大学院生有志の主なメンバー

会場へのアクセス：日本科学未来館 7階 イノベーションホール

●新交通ゆりかもめ(新橋駅～豊洲駅)

「船の科学館駅」下車、徒歩約5分
「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分

●東京臨海高速鉄道りんかい線(新木場駅～大崎駅)

「東京テレポート駅」下車、徒歩約15分

<http://www.miraikan.jst.go.jp/guide/route/>

